

2022年3月8日

世界初の「メタバース・ステーション」 “Virtual AKIBA World” がオープンします！ ～ 山手線 31 番目の駅「バーチャル秋葉原駅」開業 ～

- 株式会社ジェイアール東日本企画（以下、jeki）は、東日本旅客鉄道株式会社（以下、JR 東日本）が掲げる、駅を“つながる”くらしのプラットフォームへと転換する「Beyond Stations 構想」の一環として、オリジナルのバーチャル空間 “Virtual AKIBA World”（バーチャルアキバワールド、以下「VAW」）を、2022年3月25日にオープンします。
- VAW は、世界的なコンテンツ集積地である秋葉原の駅と街をバーチャル上に再現し、スマートフォンから手軽に体験可能な空間です。リアルとバーチャルを駅・車両という場でつなぐことで、バーチャルをより身近なものにし、人と人とのつながりをリアル・バーチャル双方で演出していきます。
- 「リアルとバーチャルの融合」を図る第一歩として、JR 東日本と共に、株式会社 NTT ドコモ（以下、NTT ドコモ）と連携した取り組みを開始します。今後もさまざまな企業やコンテンツとの空間共創によって、VAW をビジネス創発拠点へと発展させていきます。

※「メタバース・ステーション」、「Virtual AKIBA World」は商標申請中です。



VAW 外観・ロゴ ※画像は開発中のものです

1. 開業の目的

2021年8月にJR 東日本、jeki、HIKKYにより展開した「バーチャルマーケット 6」では、JR 東日本ブースへの来場者が歴代の企業出展ブース中最多となり、多くのお客さまにご体験いただきました。ご好評を受け、いつでも、どこにいてもスマートフォンから体験可能な「メタバース・ステーション」としてパワーアップし、本オープンに至りました。

2. VAWとは

JR 東日本、jeki、HIKKY とともに、バーチャル上に秋葉原駅およびその周辺を再現した、JR 東日本オリジナルのバーチャル空間です。リアルさながらに再現された駅空間で、改札を通過したり電車に乗ったり、秋葉原駅周辺を歩くなどさまざまな体験ができます。また、来訪者同士のコミュニケーションも楽しむことができます。

■スマートフォンから手軽に体験可能！

業務提携先である HIKKY の技術「Vket Cloud (ブイケット・クラウド) 」(※) を活用し、スマートフォンから、アプリのダウンロードなしで手軽に VAW へアクセス可能です。当社の強みである駅や車両といったリアルの場合から、バーチャル空間に QR コードなどを介してシームレスに遷移でき、リアルとバーチャルが融合したかのような感覚を得られます。

※「Vket Cloud」…HIKKY が独自開発した VR コンテンツ開発エンジン。アプリなどのダウンロードを行うことなく、ブラウザ上の URL をクリックするだけでアクセスが可能です。マルチプレイにも対応しており、ボイスチャットやテキストチャットで他ユーザーとのコミュニケーションも楽しめます。

3. VAW 開業時の展開

■山手線 31 番目の駅「シン・秋葉原駅」誕生！

日本を代表する“ヒーロー”4 作品によって構成された企画「シン・ジャパン・ヒーローズ・ユニバース」とコラボレーションし、コラボ期間中はバーチャル秋葉原駅を「シン・秋葉原駅」と名付けます。バーチャル空間上に VAW オリジナルデザインのグラフィックと各キャラクターが登場し、来場者を出迎えます。



「シン・ジャパン・ヒーローズ・ユニバース」コラボ
VAW オリジナルキービジュアル

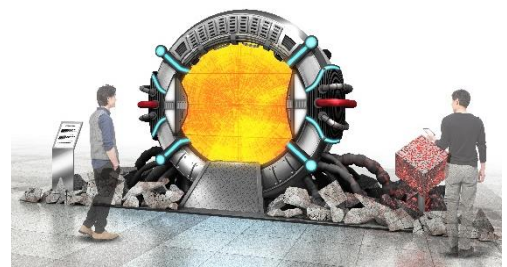
©TTITk

■秋葉原駅に、バーチャル空間への「ゲートウェイ」出現！

秋葉原駅 1 階改札内のエキナカスペースに、「VAW ゲートウェイ」を期間限定で設置します。中央の LED パネルには VAW の期待感を醸成する動画が流れ、横に設置した QR コードブロックから VAW へのアクセスが可能です。

期間：2022 年 3 月 25 日(金)～3 月 31 日(木)

場所：JR 秋葉原駅 1F 改札内イベントスペース



「VAW ゲートウェイ」設置イメージ

■ 利用者同士のコミュニケーションスペース「オフ会ルーム」

入場者同士でのコミュニケーションができる空間「オフ会ルーム」を、VAW 内の機能として実装します。共通の話題で盛り上げられる仲間とルームを作成したり、オンライン飲み会の代わりとして VAW で集合したりと、まるでリアルで集まっているかのような感覚を味わうことができます。



「オフ会ルーム」イメージ

■ 参画企業との連携

・日本中央競馬会（JRA）

VAW に JRA の空間が登場します。展開内容は今後、VAW 公式ホームページや JRA ホームページにて発表します。



・株式会社ビームス

VAW を軸に BEAMS と連携した企画を実施します。詳細は今後、VAW 公式ホームページや BEAMS 公式サイトでお知らせします。



4. 今後の展開について ～ビジネス創発拠点としての VAW～

VAW は、リアル空間とバーチャル空間を融合させたビジネスの創発拠点として、さまざまな企業クライアントの皆さまと「共創」し、これまでにない体験価値をお客さまに届けます。

■ 株式会社 NTT ドコモとの連携を開始

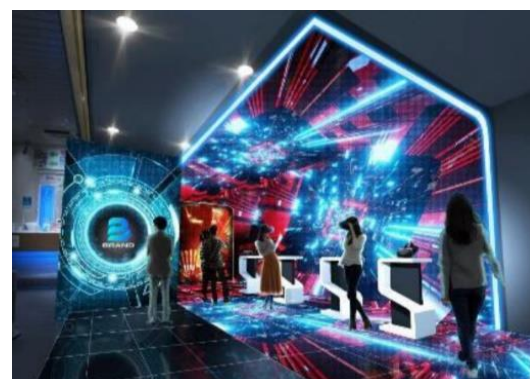
「共創」の第一歩として、NTT ドコモと VAW 内での連携を開始します。さらに、今後の XR 領域の発展に向けた取り組みを推進していくことで、NTT ドコモ、JR 東日本、jeki の 3 社で合意しました。



バーチャル空間でのホーム、車両と広告イメージ

■ リアル駅との相互展開によるバリューアップ

リアルの駅空間で、XR の世界観を体験できるスペースを造成します。リアルとバーチャルの融合を加速させ、リアルの駅空間とバーチャル空間とのお客さまの往来を活性化し、クライアントにバーチャル上での広告展開と販売機会の提供を行います。例えば、リアル空間で出稿した駅広告がバーチャル空間でよりダイナミックに表現されたり、バーチャル空間で購入した商品がリアル空間でシームレスに受け取れるなど、JR 東日本だからこそ実現できる、新しい日常の創造を目指します。



リアル展開のイメージ

■その他のコンテンツ・サービスについて

VAW 内の機能をさらに拡充し、限定入場券を NFT（※）で配布するほか、来訪者同士の交流の深度化やイベントの活性化を図ります。将来的にはバーチャル空間内でのお買い物体験や、購入した商品を駅で受け取れるなど、リアルサービスとの連動によるこれまでにない体験の実現を目指します。

また VAW では、ともにビジネスをつくりあげていく「共創」のパートナー企業さまを随時募集しています。リアルとバーチャルの融合により、VAW を新たなビジネス創発拠点・コンテンツの集積地として発展させます。

※NFT…Non-Fungible Token（非代替性トークン）。ブロックチェーンの技術を活用し、デジタル上のコンテンツに非代替性を持たせたもの。

【参考】

■「Virtual AKIBA World」概要

【名称】 Virtual AKIBA World（バーチャル アキバ ワールド）

【略称】 VAW（バウ）

【開業日時】 2022 年 3 月 25 日 11 時

【URL】 <https://jrakiba.vketcloud.com>
<https://jrakiba.vketcloud.com/VAW/>

※3月8日～25日11時まではティザーサイトとなり、VAWへのアクセスはできません。

※メンテナンス：隔週木曜 10～15 時

【利用料】 無料

※上記内容は、予告なく変更となる場合がございます。詳細は、公式 HP および公式 SNS にてご案内します。

【概要】 秋葉原駅や駅周辺エリアを再現したオリジナルのバーチャル空間内において以下のコンテンツを提供。

- バーチャル空間におけるワールドの企画・運営
- 連携パートナー企業や IP（知的財産）とコラボレーションしたオリジナルコンテンツの企画・提供
- ユーザー同士のコミュニケーションスペース「オフ会ルーム」の運営
- リアル空間とバーチャル空間が融合したオリジナルコンテンツの企画・提供および企業・団体プロモーションの提供

【運営者】 東日本旅客鉄道株式会社、株式会社ジェイアール東日本企画、株式会社 HIKKY